



渡辺賢治
慶應義塾大学
教授・医師・医学
博士

略 歴

1984年3月	慶應義塾大学医学部卒業
1984年4月	同医学部内科学教室
1991年12月	米国スタンフォード大学遺伝学教室
1995年4月	北里研究所東洋医学総合研究所
2001年4月	慶應義塾大学医学部東洋医学講座(現漢方医学センター)助教授
2013年4月	慶應義塾大学環境情報学部・医学部兼任 教授
現在	神奈川県顧問・奈良県顧問

自己紹介(活動実績)

慶應義塾大学医学部在籍中から漢方の勉強を始めましたが、師匠の大塚恭男先生の指導により、反対学を学ぶため、内科専門医となり、免疫学で博士号を取得しました。その後留学中は免疫学と分子生物学で研究し、1995年に帰国してから本格的に漢方を勉強し始めました。漢方の治療は医師の腕に拠るところが半分、生薬の品質に拠るところが半分であることを痛感し、いい生薬原料がだんだん入手できなくなっていることに対し、10年前から質の高い=治療効果の高い生薬を求める活動を開始しました。同時にWHOの国際疾病分類改訂の仕事を2005年から開始し、共同議長として取りまとめをしてきました。そんな中、日本の漢方が世界から求められている事を知り、質の高い国産生薬の栽培によりmade in Japan, made by Japanの漢方薬を世界に紹介したいと思って活動しています。

専門分野(keyword)

漢方医学、国際疾病分類、内科学、未病、漢方の六次産業化

研究会に期待すること

研究会で一つでも多く化学反応が起きて、漢方の六次産業化が進むこと。そのためには、会員の積極的な関わりを期待しております。